

国民大運動行動報告

第005号
2018年
3月29日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第196通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催3・28定例国会行動～
安倍政権退陣！森友疑惑の真相解明を！



森友学園の国有地売却にかかわる公文書改ざん事件で佐川氏の証人喚問が行われた翌日の3月28日、第196通常国会第5回目の定例国会行動が全日本民医連の山本淑子事務局次長の司会のもとで行われ、約300人が参加しました。全厚生労働組合の大門晋平さんは沖縄への支援を表明し、「美しい海も森もまだ沖縄にかえていない。沖縄を返せ！」と沖縄県民の民意尊重と基地の押しつけ撤回を求める339人分の署名を本村伸子衆議院議員に託しました。

<発言概要>

安倍内閣打倒を正面に掲げ、市民の運動のうねりを大きくしよう！

主催者挨拶を行った全労連の小田川義和議長は、証言拒否を繰り返す佐川氏の証人喚問を「公務員の矜持はどこへ行ったのか」と批判し、何も事実が明らかになっていない中で関係者の証人喚問は不可欠と述べ、「幕引きを許さず、市民の力で真相解明の道を開かせよう」と訴えた。また、裁量労働制のデータねつ造にも触れ「これらの元凶は内閣人事局を設けた14年の公務員改革制度にある」と指摘し、弊害是正のためにも公務員の労働基本権の回復をと訴えた。さらに安倍政権は、治安強化の迷惑防止条例改悪や自衛隊の軍隊化を進め「改憲発議に遮二無二なっている」とし、「すべての課題で安倍内閣打倒を正面に掲げ、4月14日の国会大行動を最大の集中点に、市民の運動のうねりを大きくしよう」と訴えた。

人生をかけたたたかい、一刻も早く安倍政権を退陣に追い込もう！

国会報告と激励の挨拶を行った日本共産党の本村伸子衆議院議員は、佐川氏の証人喚問について「答弁拒否は55回にも及んだ一方で安倍首相や昭恵夫人、官邸、麻生大臣らの関与についてはきっぱりと否定し異様」と指摘し、「関係者の証人喚問で真実を明らかにさせよう」と訴えた。また、改憲の問題でも「南スーダンの日報隠しを行い自衛隊員のいのちを脅かし」「北朝鮮問題でも、世界が平和的な解決の努力を続ける中で危機をあおることしかしない」と安倍政権を批判。「被爆二世の私にとって9条を壊す安倍政権を退陣に追い込むことは人生をかけたたたかいだ。国会発議を許さず、一刻も早く退陣に追い込もう」と強く訴えた。



写真右より、主催者挨拶を行う小田川議長、本村議員、山本さん

徹底説明を求めるとともに、政府は政治的責任を取れ！

国公労連の秋山正臣中央執行副委員長は、佐川氏証人喚問で改ざんの経緯が何一つ明らかにならなかった事に対し、「公務員にとって文書というのは非常に大切なもの。自分が仕事をしてきた証でもある」と主張した上で、改ざんなど有り得ないことであり「どう考えても政治的な圧力があつたとしか思えない」と述べ、「なぜこのようなことが起きたのか。徹底究明で政治的責任を取らせていくために、全力を尽くす」と決意を語った。

全国的な世論の声を署名に！安倍内閣退陣で国民に寄り添った政治を！

神奈川大運動実行委員会の黒澤大輔さん（神奈川県民医連事務局）は、3,000万人署名のとりくみについて、1ヶ月も経たないうちに404筆も集まり神奈川県民医連で17,000筆になると報告。「配れば配った分だけ確実に帰ってくる」と、安倍政権を批判する世論の要求に合致している事を強調した。「憲法を守るという事は、国民生活を守るという事に直結する」と主張し、安倍内閣退陣という全国的な声をさらに大きくし、「国民に寄り添うまっとうな政治を求めて、声をあげていこう」と強く呼びかけた。

市民の声を大きく規制する都の迷惑防止条例改悪は、断固反対！

自由法曹団の大住広太東京支部長は、22日に都の警察・消防委員会で可決された迷惑防止条例改正について「ストーカー等規制法改定に伴うものだと説明しているが、市民の活動を大きく規制しうるものだ」と指摘。「反対したのは共産党だけであり、他党派は、正当な理由なくして適用してはならないとする乱用防止の規定があるから問題ないとして賛成したそうだが、その正当な理由を判断するのは現場にいる警察官に他ならない」と批判。「絶対に許してはならない。断固として反対したたかう」と訴えた。

致死量に値する労働を命令しても違法ではない、こんな法案は廃案しかない！

全労連の伊藤圭一雇用・労働法制局長は、この間、裁量労働制については「市民と野党の共同でねつ造データを明らかにし撤回させることができた」と報告。しかし一括法案について、致死量に値する労働を命令しても違法とならず、罰則規定もない高度プロフェッショナル制度や残業時間の上限規制について批判するとともに、非正規・正規間の格差を容認する「同一労働格差賃金容認法案だ」と告発した。「今でも過労死は起きている。まともな法律を作らせるために、先頭に立ってたたかう」と決意を述べた。



安倍政権退陣に向けて、後半国会のたたかいを大きくひろげよう！

行動提起を行った安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長は、「安倍政権は隙あらば憲法を壊す反撃に出る危険性を孕みつつの、緊迫した情勢だ。疑惑追及を全国で展開しながら 3,000 万人署名を必ず達成して、後半国会のたたかいを大きく広げよう」とよびかけた。

おしまいに、「国民をだまし欺く安倍政権による幕引きは、絶対に許さない」と全商連青年部協議会の根本遼事務局長が音頭をとり、参加者全員でシュプレヒコールを行った。

<開催時間の変更のお知らせ>

～次回は、開始時間が15分早まります～

- ★ 4月11日(水) 12:00~12:30
12時30分~13時 雇用共同アクションの行動が行われます
- ★ 5月9日(水) 12:00~12:30
12時30分~13時 全国災対連の行動が行われます
- ★今後の定例国会行動（隔週で行う）
4/11、4/25、5/9、5/23、6/6（6/20 閉会予定）